



デ・サッチャー (15-0-0)

サッチ除去管理材

- 自然界に存在するバチルス種族
- 緩効性窒素
- 酵素生産微生物(好気性菌)を含む
- 蛋白分解酵素、セルロース分解酵素等の酵素群

(米国メーカー保証値)

窒素	15%
緩効性水溶性窒素	12.75%
尿素	2.25%

(成分の由来)

緩効性窒素は **メチレン尿素** 由来

(有益な根圏微生物と分解酵素)

- バチルス・ズブチリス (3.78リットル当り30億個以上)
- バチルス・メガテリウム (3.78リットル当り30億個以上)
- バチルス・リヘニフォルミス (3.78リットル当り30億個以上)

- プロテアーゼ 0.01 CSU単位/ガロン以上 (蛋白分解酵素)
- セルラーゼ 0.01 FPU単位/ガロン以上 (セルロース分解酵素)
- アミラーゼ 0.01 SLU単位/ガロン以上 (アミロース分解酵素)

(非植物栄養成分)

- バチルス・メガテリス発酵生産乾燥物
- バチルス・リヘニフォルミス発酵生産乾燥物
- バチルス・ズブチリス発酵生産乾燥物
- アルペルギルス・オリザエ発酵抽出乾燥物
- 炭酸カルシウム、天然湿潤剤、植物抽出物、単糖および複合糖類

1リットル当たりの製品重量 1.24kg

容量 10リットル×1本

(商品説明)

- ・デ・サッチャーは炭素をベースとする原料、炭素と窒素の原料由来の緩効性窒素および天然に存在する土壤微生物の濃縮原料を独特の割合で配合したものです。これらの有機接種材(微生物のこと)は、サッチや他の堆肥媒体の分解を助け、盛んにするために開発されました。
- ・サッチのような複雑な有機物質を分解することはリグニンやセルロース繊維が高い比率で含まれているため非常に難しいものです。それを達成するためには、天然に存在する土壤微生物のバランスと酵素の選択、そして炭素と窒素の比率を調整することが必要不可欠なのです。
- ・サッチは、リグニンやセルロースのような丈夫な繊維を含む複雑な有機分子なので、それを分解するためには微生物の活動力が必要で、そこではじめて植物の栄養源になります。もし、これらの要素の一つでも無い場合はサッチの形成が増し、芝が水や栄養物を吸収することを強く妨げます。

・デ・サッチャーに含まれている特殊な微生物は、これを土壤に使ったとき十分な量のプロテアーゼとセルラーゼを産出し、これらの酵素がサッチや土壤中の他の有機化合物の中にある蛋白質を消化します。

・バチルスはセルラーゼ、アミラーゼ、リパーゼ、キシラナーゼ、ペクチダーゼを産出し、有機物を貴重な栄養分に分解します。

・デ・サッチャーに含まれている独特な窒素源は合成された有機化合物です。この緩効性窒素は土壤の微生物に炭素と窒素の両方を供給します。デ・サッチャーを散布することにより炭素と窒素の比率が調整され、更に有機残留物の分解が促進されます。緩効性窒素源は、更なるサッチの形成を制御するために役立ちます。

(使用方法)

<サッチの通常のメンテナンス>

施肥の際、成長期を通じて1~1.5ヶ月毎に1.5~2cc/m²を使用して下さい。

<サッチの調整が必要なとき>

寒暖および芝の変わり目の成長期を通じて、いつでも使用できます。

サッチが堆積した場所では土壤の温度が7°Cになったとき早春に1回 4cc/m²を使用し、そして3~4ヶ月毎に補う意味で、3.5~4cc/m²を使用して下さい。

<窒素調整>

デ・サッチャーは15%の緩効性窒素を含んでいるので、芝の過剰成長をさけるため、施肥計画、または施肥の際にその分の窒素を減らして下さい。

<堆肥の分解>

・デ・サッチャーはその微生物と酵素の働きによって、堆肥の分解を促進します。
400%の水にデ・サッチャーを4%混合し年3回使用します。

(混合方法)

- ・デ・サッチャーは他の肥料とタンクの中で混合できます。
- ・使用する前によく振って下さい。
- ・希釈液は、6時間以内にすべて使って下さい。

(使用上の注意)

- ・子供の手の届く場所に置かないでください。
- ・使用後は手を洗ってください。

(別紙、m²当り散布量参照)